



# かさおか



## 暑中お見舞い 申し上げます



### 「笠岡のお宝映像発見」

会長の奮闘記 その13

令和4年3月号で、笠岡小さな映画館プロジェクトをご紹介しましたが、この春、幸運にも昭和初期のフィルムに出会うことが出来ました。この写真は、笠岡高等学校の前身である、笠岡高等女学校の体育会の様子で、おそろいのユニフォームを着てダンスを踊っています。この他にも、小学校が男子校と女子校に分かれていた頃の運動会の様子もご紹介できますので、一度映画会にお越しください。

さて、新型コロナウイルスの蔓延で、まちづくり協議会の活動も沈滞ムードが続いておりましたが、今年の総会は、3年ぶりに対面で開催することが出来ました。地域活動は人と人とが紡ぎ合い、歳月を経ながら築いて行くものと思いますが、各種団体とも10年前と比べると慢性的な役員の高齢化や固定化が進んでいます。さらに、突如として現れた新型コロナウイルスによって社会環境も大きく様変わりをしており、こうした中で、次の世代につなげていくためには、新たな人材の確保が喫緊の課題となっています。まちづくり協議会が発足して10年の節目を迎えた今日、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら、未来づくりに改めて取り組んで参りたいと思っております。

- ・7月4日(月)14:30～  
令和4年第1回福祉部会を予定
- ・7月6日(水)14:30～  
令和4年第2回くらし部会を予定
- ・7月6日(水)18:30～  
令和4年第4回総務部会を予定



### 『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地  
「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日14時～17時

## 令和4年度通常総会開催

新型コロナウイルスのため、2年続けて書面による議決をお願いしましたが、本年度は6月5日に総会を開催することができました。

- 委員総数83名中69名(うち委任状36名)のご出席を頂き、次の5議案が承認・可決されました。
- ・第1号議案 令和3年度活動報告について
  - ・第2号議案 令和3年度収支決算並びに監査報告について
  - ・第3号議案 役員承認について
  - ・第4号議案 令和4年度活動計画(案)について
  - ・第5号議案 令和4年度収支予算(案)について

## 令和3年度活動報告

事務局	開館日に会長と事務主任が常駐し、新型コロナの感染防止対策を実施しながら事務処理や来館者の対応等に携わりました。
総務部会	定期的に会議を開いて各部会や役員会の調整を図りましたが、新型コロナの感染防止のため集会施設の使用制限を受け、5月の役員会・6月の総会は書面による会議になりました。
くらし部会	第4回防災学習会を予定していましたが、新型コロナの感染防止のため中止になりました。
子育て部会	小学1年生の入学に合わせ、自転車前カゴの「ひまわりプレート」を保護者に配付して見守り活動の協力を呼びかけました。また、「第8回子どもふれあい祭り」を開催し、新型コロナの感染防止対策のもと親子が羽子板とプラ板作りを楽しんで親睦を深めました。
福祉部会	事務所前の環境美化に取り組みました。また、集会室等を活用して「いきいき100歳体操」や「スマホ教室」「クラフトバンド教室」を開いて会員の親睦を図りました。
文化部会	小学4年生を対象にした副読本「子ども版・絵と写真で見る笠岡町の歴史」の作成に取り組みましたが、コロナ禍のため編集作業が遅れ、発行は4年度に引き継ぎました。なお、「笠岡の歴史散見集」の冊子を50部増版しました。
広報部会	コロナ禍にあつて、小・中学校や地域の行事が縮小や中止になり、取材も少なくなったので広報紙の紙面を工夫しながら情報発信に努めました。
地区運営委員会	コロナ禍のため各地区とも主な活動を見送りました。

## 令和3年度収支決算報告

### 「笠岡市交付金分」

#### 【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
笠岡市交付金	1,978,000	1,978,000	運営交付金
繰入金	0	0	
合計	1,978,000	1,978,000	

#### 【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
人件費	800,000	792,420	会長・事務主任報酬
管理費	754,000	773,371	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000、電気水道代 96,000 体温検知器 49,500、郵便、電話、コピー代他
活動費	401,200	312,933	総会・役員会・部会の活動経費
予備費	22,800	0	
合計	1,978,000	1,878,724	

※収入支出差引残額の99,276円は剰余金として市に返還しました。

### 「事業会計分」

#### 【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
繰越金	346,992	346,992	
売上金	0	44,000	冊子売上(笠岡の歴史散見集他)
その他収入	0	33,677	コピーサービス、利息等
合計	346,992	424,669	

#### 【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
繰出金	0	0	
合計	0	0	

※収入支出差引残額の424,669円を次年度に繰り越しました。

◇ 令和4年度の役員紹介

○会 長 榊平一平(再任) ○副会長 黒田英樹(再任) ・ 秋田悦子(再任)

○監 事 大口範子(再任) ・ 宮島武男(再任)

《部 会》

○総務部会長 塩飽和人(再任) ○くらし部会長 調整中 ○子育て部会長 調整中

○福祉部会長 石井澄恵(再任) ○文化部会長 繁地 晋(再任) ○広報部会長 石原 健(再任)

《地区運営委員会・委員長》

○東地区 松井國男(再任) ○西地区 調整中 ○宮地・浜田地区 森山祐武(新任)

○殿北地区 塩飽和人(再任) ○中央地区 長谷川靖子(再任) ○川北地区 福島良喜(再任)

○住吉・西の浜地区 久保俊宏(再任) ○追分地区 大島好四郎(再任)

《事務主任》 岡本富美子

《地域担当職員》 黒田英樹・撰 友則・片山詩央里

**令和4年度活動計画**

区 分	活 動 内 容
総 務 部 会	笠岡地区まちづくり計画に基づき各事業の進捗状況を確認しながら地域の活性化を図る。総会及び研修会の開催。中学生200人アンケートの実施など。
く ら し 部 会	自主防災会及び消防団等と連携して防災について学習し、自助・共助の力を培う。防災学習会を開催し災害の対処方法を学ぶ。防災マップを活用した地域の防災力の推進。
子 育 て 部 会	子どもふれあい祭りを開催し、子ども達の交流を図り地域の絆を深める。ITを活用した夏休みこども教室を開催し、小学生の情操教育を推進する。自転車の「見守りプレート」を新一年生保護者に配付して見守り活動を推進する。
福 祉 部 会	井戸会館を活用し「町のテラス」事業、いきいき100歳体操・スマホ教室・クラフトバンド教室等を開催する。花いっぱい活動を進めて地域の環境美化を図る。
文 化 部 会	歴史冊子を活用し、研修会を実施して郷土への愛着心を養う。小学4年生を対象に「笠岡町の歴史」の副読本を作成して地域学に役立てる。
広 報 部 会	広報紙を発行してまちづくり協議会の活動を紹介し、住民意識の高揚を図る。
地区運営委員会	親睦餅つき大会の開催や笠岡難巡りに協賛して地域活動の活性化を図る。

**令和4年度収支予算**

笠岡市交付金分

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
笠 岡 市 交 付 金	2,016,000	運営交付金
そ の 他 収 入	132,000	事業会計(冊子売上金他)繰入金
合 計	2,148,000	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
人 件 費	800,000	会長・事務主任報酬
管 理 費	744,000	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000 電気・水道代 96,000 その他事務用品・コピー代等 408,000
活 動 費	604,000	総会・役員会・部会の活動経費
合 計	2,148,000	

事業会計分

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 越 金	424,669	前年度繰越金
合 計	424,669	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 出 金	132,000	文化部会・副読本作成費充当
合 計	132,000	

# 水難事故に注意しましょう！

梅雨が明けると、本格的な夏の暑さとともに水に接する機会が多くなり、海や川、プールなどでの水による事故が増える時期となります。また、風呂場などでの水の事故を防ぐためにも、正しい知識を持って大切な命を守りましょう。

## 水の事故を防ぐために

★家庭や子どもの遊び場では

- ・幼い子から目を離さない。（少しの水量でも窒息します。）
- ・子どもだけで遊ばせない。（川や池、海辺は特に注意する。）
- ・危ないと感じたら自分の子どもでなくても注意をする。

★レジャーでは

- ・準備体操をしっかり行い、定期的に休憩をとる。
- ・体調が悪い時は泳がない。また自分の力を過信しない。
- ・危険と思われる場所や、遊泳禁止区域では泳がない。
- ・釣りなどのレジャーを楽しむ場合でも、ライフジャケット（救命胴衣）を着用する。



## 万が一、事故が起きたら

- ・心を落ち着かせて、大声で周りの人に知らせる。
- ・119番通報を依頼し、周りの人と協力してロープや竿、浮き輪などで救助する。

## ★「新しい生活様式」における熱中症予防のポイント★

### ① 適宜マスクをはずしましょう

- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は、要注意です。
- ・屋外で、人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす。
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩をとる。

### ② 日頃から健康管理をしましょう

- ・日頃から体温測定、健康チェックをする。
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養をする。

### ③ 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整する。
- ・感染症予防のため、換気扇や窓の開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整する。
- ・暑い日や時間帯は無理をしない。
- ・涼しい服装にする。

### ④ こまめに水分補給をしましょう

- ・のどが渇く前に水分補給をする。
- ・1日あたり1.2リットルを目安に。
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに。

### ⑤ 小さい子どもや高齢者は、屋内での熱中症にも注意しましょう

- ・熱中症は室内でも起こります。小さい子どもや高齢者、病人がいる家庭では適切にエアコンを利用しながら体温の管理をしましょう。
- ・気温が高い日などに散歩する場合、身長が低い子どもは、地表面からの熱を受けやすいので注意が必要です。子供の顔が赤かったり、ひどく汗をかいているときは熱中症の疑いがあるので、涼しい場所で休ませましょう。

熱中症  
予防



息苦しさを感じたら  
人との間隔をあけて  
マスクを外して休む

### ★熱中症警戒アラートについて

環境省と気象庁では、暑さ指数（WBGT）に基づき、熱中症の危険性が極めて高いと予測される場合に、暑さへの「気づき」を呼びかけ国民の熱中症予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート」について、令和3年4月28日（水）から全国で運用を開始しました。暑さ指数の予測値が都道府県内のどこかで33以上になる場合に、前日17時頃及び当日5時に対象都道府県等に対して気象庁と環境省より発表されます。

### 編集後記

新型コロナウイルスによって私たちの暮らし方が変わり、まち協などの地域活動にも大きな影響をもたらしています。

梅雨が終わると猛暑が予想され、暑さに負けない、コロナにも負けない健康な体を作っていきましょう。 I・M

